

IoT 端末へのサイバー攻撃対策を強化する 「Windows 10 IoT」に対応した Cybereason EDR、Endpoint Prevention を提供開始

「Cybereason」のセンサーが Windows 10 IoT に対応し、
POS 端末や制御端末を標的としたサイバー攻撃へのセキュリティ対策強化を支援

AI(人工知能)を活用したサイバー攻撃対策プラットフォーム「Cybereason」を国内向けに提供するサイバーリーズン合同会社(本社:東京都中央区、代表執行役員社長:山野 修、以下「サイバーリーズン」)は、IoT 端末へのサイバー攻撃対策を強化するため、「Windows 10 IoT」に対応した国内シェア 1 位^{*1}の「Cybereason EDR」および EPP の「Cybereason Endpoint Prevention(EPP)」の提供を開始しました。

世の中の急速なデジタル化の進展による働き方や生活スタイルの大きな変革に伴い、デジタル化によるサービス向上、業務効率化、働き方改革が進められています。一方で、サイバー攻撃は組織の規模や有名無名を問わずリスクが高まっています。攻撃者は PC や社内サーバーだけでなく、小売業界における POS 端末や製造業における生産ラインを制御する端末など、特殊用途の端末を標的とした攻撃が近年発生しており、その結果、顧客情報の流出や、業務停止などの被害に繋がっています。

小売業においては、2022年8月に欧州のコンビニエンスストアの POS 端末および決済システムがランサムウェア攻撃の被害を受け、全店舗を閉鎖しました。また、製造業においては、フィッシングメールによる感染やテレワーク端末を狙った攻撃によって、組織内の IT ネットワークに侵入し、工場の制御システムを操作する端末を狙ったサイバー攻撃の脅威が発生しています。このような攻撃は OS の標準ツールや脆弱性を悪用するため、従来の入口対策型のセキュリティ対策では脅威を検知、対応することが非常に困難です。

このように、顧客情報の保護や、店舗営業や生産ラインの継続性、ブランドを維持する上では、社内の PC、サーバーだけではなく、IoT 端末など特殊用途の専用端末に対するサイバーセキュリティへの取り組みが重要な経営課題と言えます。

この度、サイバーリーズンはサイバー攻撃対策プラットフォーム「Cybereason」のセンサーに対応する OS を Windows や Linux、Mac に加えて「Windows 10 IoT」へ拡張しました。このことによって、サイバーリーズンを導入したお客様は、Windows 10 IoT を搭載した POS 端末や、タブレット、デジタ



ルサイネージ、工場の制御システムの専用端末に対する、ランサムウェアをはじめとしたサイバー攻撃を「Cybereason Endpoint Prevention」によって阻止し、侵入した攻撃を「Cybereason EDR」によって検知・対応することができます。国内ではすでに外食産業のお客様が Windows 10 IoT 端末 (POS 端末) に搭載する EPP、EDR として「Cybereason」を採用することが決定しています。

サイバーリーズンは、日本法人の立ち上げ当初から日本市場に寄り添った製品・サービス展開を行っており、EPP・EDR・MDR 市場で国内シェア No.1^{※1} を獲得しています。このたび新たに「Windows 10 IoT」が「Cybereason EDR」に対応することで、より強固なサイバーセキュリティ体制の構築をサポートし、日本の企業・組織が安心して DX (デジタル・トランスフォーメーション) を推進できる環境をつくるとともに、日本経済のさらなる発展に寄与することを目指します。

※1 出典:株式会社アイ・ティ・アール 2021 年 5 月発行「ITR Market View : エンドポイント/無害化/Web 分離/CASB/CSPM/SOAR 市場 2021」 2021 年 12 月発行「ITR Market View: エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型 SOC サービス市場 2021」

■「Cybereason EDR」について

AI を活用した独自のエンジンが、お客さまのネットワーク環境での攻撃の振る舞いを分析してサイバー攻撃を検知するとともに、攻撃の全体像を自動で相関解析して可視化します。管理サーバーはクラウドで提供するので、お客さま側でのシステム構築は不要です。また、管理画面やレポートは日本語に対応しています。Cybereason EDR および Endpoint Prevention の機能は、単一のエージェントとして提供されます。

■「Cybereason Endpoint Prevention (NGAV & Endpoint Controls)」について

一般的な次世代アンチウイルス(EPP)がサポートしているシグネチャベースや機械学習で未知のマルウェア、既知のマルウェアを止めるだけではなく、ランサムウェアや悪意のある PowerShell のファイルレスマルウェア、マクロを悪用した攻撃など、あらゆるタイプのマルウェアに対応できる専用の防御層で情報資産を保護する事ができます。

Cybereason EDR 詳細ウェブページ:

<https://www.cybereason.co.jp/products/edr/>

Cybereason Endpoint Prevention 詳細ウェブページ:

<https://www.cybereason.co.jp/products/ngav/>

センサー対応 OS ウェブページ:

<https://www.cybereason.co.jp/products/sensor/>



<サイバーリーズン合同会社 会社概要>

社名:サイバーリーズン合同会社

設立日:2016年3月9日

代表執行役員社長:山野修

所在地:東京都中央区京橋 1-17-10 住友商事京橋ビル 8階

事業内容:サイバー攻撃対策プラットフォーム「Cybereason」の日本市場での提供およびそれに付帯する事業

URL: <https://www.cybereason.co.jp>

<「Cybereason」の概要>

「Cybereason」は、サイバー攻撃から企業や団体のシステムを安全かつ確実に保護するサイバー攻撃対策プラットフォームで、企業・団体内の膨大なデータをあらゆる角度から深く分析する機械学習エンジンとグラフ処理システムを構築し、提供します。次世代アンチウイルス(NGAV)や、ランサムウェア対策、悪意のある PowerShell への対策、EDR 機能などを搭載するフルスタックの振る舞い検知型ソリューションである「Cybereason」は、これまでにない脅威を可視化し、複雑化する高度なサイバー攻撃を阻止する力をお客さまへ提供します。

- Cybereason および Cybereason のロゴは、Cybereason Inc.の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
 - このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発当日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。
-